

NPO法人コースター 紹介資料

2019年 7月



コースターにかける3つの想い

(1) コップの下に置くコースターのように、多くの人々の受け皿になれるような団体になる

(2) コースターのスペルはcostar。分解すると“co”と“star”。関わる人と『共に、星になれる』、または、『共に、輝ける』ような場をつくる

(3) コースターのスペルはcostar。意味は『共演する』。様々な人がつながっていけるような場を作る

上記の想いを元に、福島で活動する人を
増えるような場づくりを行っています

団体概要

活動の 目的

福島の地において、創造的かつ持続的に自己変革していくことができる地域社会の実現を目指し、社会的課題の解決に取り組む人材の育成及びその促進のための社会的基盤整備に関する事業を行い、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

【役員】 代表理事＝岩崎大樹、坂上英和 理事＝齊藤美佐、遠山賢一郎、鈴木綾、監事＝江川和弥、若月ちよ

【設立】 2012年10月12日 / 法人登記 2013年3月1日

【活動規模】 2014年度(2014年10月～2015年9月) 約5,700万円

3つの主な事業

コミュニティスペース運営 (福島コトひらく)

若者の活動創出のためのコミュニティスペースを運営。任意団体で2008年から運営してきた「コミュニティBOXびーなっつ」に代わり、コワーキングスペースやレンタルオフィスを備えた「福島コトひらく」を2015年にオープン。



まちづくり支援

若者が地域に入り、住民と一緒に課題解決や地域おこし、復興活動に取り組む活動をコーディネート。田村市から、「復興応援隊」事業を受託中。郡山市内にある川内村仮設住宅では清掃ボランティア活動を実施中。



中間支援・人材育成

他のNPOや市民活動の基盤強化や資金調達など中間支援も相談に応じて対応。勉強会の開催、市民活動や復興に関する政策提言も実施。講演や講師も年に数件程度受けている。



コミュニティスペース運営事業

■概要

- 延べ600平米の倉庫をリノベーションを行い、複合型コミュニケーションスペース「福島コトひらく」を設置。
- 24時間利用可能なレンタルオフィス、3Dプリンター・スキャナー等のアイデアを即時に形にできる工房スペース、多人数でのミーティングやイベントが行える多目的会議室等を備えた複合施設を運営
- 現在レンタルオフィスに5社入居し、コワーキングスペースには、7団体の月額会員が活動している。会議室やイベント利用者は月250～300名程度の利用がある。
- 今後、郡山市産業支援課と連携して、創業支援プロジェクトも検討中



コミュニティスペース運営事業



まちづくり支援 川内村の活動紹介

平成24年1月に帰村宣言。帰還率は5割程度。高齢者が多く、未だに仮設住宅での生活を余儀なくされている住民が多い。仮設内でのいきがづくりやセーフティネット構築事業を展開。



＜主な活動＞

- ・仮設住宅の住民とともに仮設内での野菜販売事業を週2回実施(写真左上)
- ・野菜市場と併設してお茶のみ場を運営(写真右上)
- ・仮設住宅内での清掃ボランティアを通しての御用聞きを実施(写真左下、写真右下)



川内村の住民と一緒にあって、まちおこしであり、コトおこしを実施中

中間支援事業 富岡町の活動紹介

現在もなお1万6千人の町民が避難。町民が立ち上げたNPO「3.11を語る会」という団体のNPO法人設立と事務局整備を支援。具体的には週1～2日、スタッフを派遣して事務局を担いながらの仕組みづくりを行う。



＜主な活動＞

- ・年間200講演依頼のある語り部との交流会の受入・実施の効率化
⇒経験のないパートが入ってきても、日常業務を滞りなく、行うまでできるようになった。
- ・経理システムの確立
- ・資金調達や事業化を行う。
⇒今年度の事業予算は調達済み

コースターがなくなっても、活動が継続できるところを目指して実施中。

人材育成事業

○高校生向けプロジェクト創出支援(2015年～)

■概要

- 県内5つのエリアのNPOと連携して、高校生のプロジェクト創出を支援するイベントを実施し、高校生と地域の経営者・社会人をつなげる活動を行っている。
- 具体的には、高校生が地域の中で自分たちが行いたいプランを発表し、それに対して、参加者全員でアイデア出しを行い、その後、必要とあれば継続して支援を行っていくマッチングイベントである。
- マッチングイベントは年3～4回実施し、そのための高校生向けの研修会を月1回程度実施している。マッチングイベントでは高校生3～4名、参加者は各回50名前後の参加がある。
- 高校生の発表プランの一例として
 - ・福島市の高校生による福島の素材を使ったラーメン開発
 - ・郡山市の高校生による県内の自治体ごとのフリーペーパー作成プロジェクトなどが発表されている。



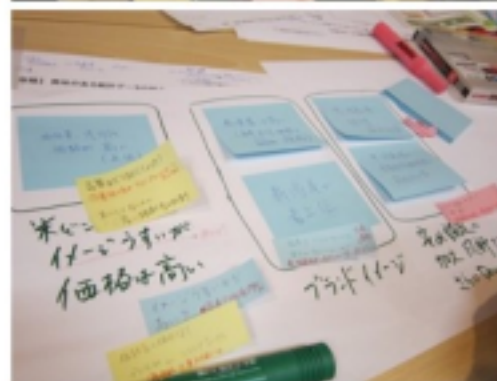
人材育成事業

○社会人向けプロジェクト創出支援(2016年～)

■概要

- 郡山市役所 市民・NPO活動推進課と共同で、市民向け連続企画ワークショップ「こおりやま地域課題解決チャレンジ塾(以下、チャレンジ塾)」を開講。
- 郡山市における市民活動人材を増やすために実施し、9か月間で参加者の興味ある社会・地域課題に関連するイベントを企画・実施することをゴールにイベント企画を行うワークショップである。
- 最終的には6組7名がイベントを実施し、現在も継続的に実施している参加者もいる。
- 参加者が企画したイベントの一例は、下記のとおりである。
 - ・自分史を用いた私が「私」であるための「わたしノート」
 - ・ボードゲームで子供を育てる「ボ育て」のすすめ
 - ・湖南町活性化プロジェクト ～ 湖南町にカフェをつくりたい

など



人材育成事業

○中学生向けキャリアセミナー(2013・14年実施)

■概要

- 南会津町にある南会津中学校の依頼により、人生において数々の失敗や挫折を乗り越え、キャリアを形成していた社会人の講話を聞くことを通して、生徒自身の将来の進路決定や自己効力感の形成に寄与することを目的に実施。
- 2013年12月、2014年10月の2回実施し、2年間で、中学1～3年生188名が受講。
- 企業経営者、NPO経営者、公務員、フリーランスなど、様々な職業や人生を経験してきた社会人18名が職業観や人生観について講演。
- 少人数形式の講演で、車座形式によるコミュニケーションスタイルで実施。



コースターの事業の概念

